



# 特別賞

調査・計画部門



## 岩手県北上市展勝地公園内の桜及び陣ヶ丘のツツジ協働管理計画

株式会社 総合設計研究所 東北事務所  
大瀧英知・井上航・大石佳奈

本計画は、令和3年に100周年を北上市展勝地公園において、今後100年先までも歴史的な景観を継承していくこと、観光地としての更なる魅力の向上を目的とし、公園内の桜並木及び陣ヶ丘の植生について適正な維持管理を市民（さくら守）・専門家・行政が一体になって行うための管理計画を2年かけて策定したものです。

### 桜並木の植生管理計画(1年目)

展勝地公園の桜並木は、植樹から約100年が経ち、桜の高齢化が進みました。さらに、樹間が狭く桜並木が南北に伸びているため、桜の樹勢に大きな影響を与える日照量のバランスが均等でなく、また、桜が被圧を受けていることが課題となっていました。

本計画では、「展勝地公園さくらを守り育てるマニュアル」を作成、それをもとに桜一本一本に対して丁寧な調査を行い、桜の状態や処置方針が確認できるような管理カルテを作成しました。また、公園の利用について園地の現状と桜の評価を把握するための図面（ポイント性を採用）を作成しました。これらが、桜の適正かつ細やかな維持管理に大きく寄与しました。

### 陣ヶ丘の植生管理計画(2年目)

展勝地公園陣ヶ丘は、松・桜・ツツジ等の植物資源が豊富ですが、植生管理についての全体計画はありませんでした。特にツツジに関しては、見ごたえのある樹種が多い一方、樹木の過度な成長により眺望を阻害、さらに自身の日陰によって生育環境も悪化していました。

本計画では陣ヶ丘の植生調査によりエリアを分け、それぞれのエリアの具体的な植生管理計画を策定しました。ツツジの状態（ポイント化により生育状況を定量化）やエリアにより剪定方法等についても細かく取り決め、それをもとに試験施工などにより効果検証しながら、管理方法の確立を行い、眺望（景観）と生育環境の両方の回復を可能にしました。

### 作品概要

作品名—— 岩手県北上市展勝地公園内の桜及び陣ヶ丘のツツジの協働管理計画  
対象地—— 岩手県 北上市  
発注—— 岩手県 北上市  
事業目的—— 植生の維持・保全について考え、今後も引き続き桜並木や陣ヶ丘からの眺望といった資源的価値を持続させる  
事業体制—— 岩手県北上市 小岩井農場株式会社 当社  
協働者等—— 小岩井農場 株式会社  
事業期間—— 2015年9月～2017年3月  
事業規模—— 約25ha

### 作品評

対象地は開園後100年を迎える歴史の古い公園であり、桜の名所として知られている。桜やツツジは高齢化や過密化等によって樹勢の衰えが生じており、総合的・長期的な樹木管理計画を策定する必要があった。応募者は、市民・専門家・北上市等と連携して調査・計画作成の業務を行った。

桜については、「さくらを守り育てる冊子」の作成、桜の健康診断とカルテの作成、陣ヶ丘公園においてゾーニングによる管理方針の決定、樹木特性ごとの管理手法の決定等と多岐にわたっている。さらに実現主体として「さくら守」の発足を導いた。

みどりの専門家としての専門技術を踏まえて、市民を巻き込みながら本公園の長期的な指針を明らかにした成果が高く評価された。



調査・計画部門